

今年も、郵送検診の季節がやってきました



— 郵送検診のご案内 — 大腸検診&子宮がん検診

生活習慣の改善とともに年1回のこの機会を利用して
検診を受け健康チェックをしてみましょう

いまや日本人の死亡で、3人に1人はがんで亡くなる時代です。がんは、喫煙や食事・飲酒習慣、ウイルスなどの感染、加齢などが関係しているといわれていますが、決定的な予防法については今のところ確立されていません。

また、近年は大腸がんが増えています。平成15年の大腸がん死亡率は全がん死亡の12.6%を占め、第3位となっています。また、子宮頸部がんでは若い人の発症数が増えています。

郵送検診（大腸がん・子宮がん）は、ご家庭で手軽に検査することができ、費用も無料です。
大腸がん、子宮がん共に、早期発見により高い確率で治癒します。

実施期間：10月～12月末日

（8月末日在籍者に対してメール便にて案内書を発送します）

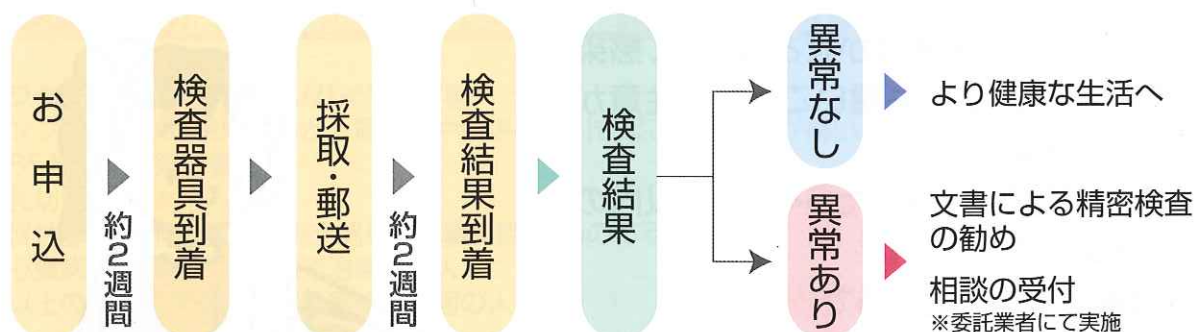
費用負担：全額健保負担（自己負担はありません）

対象者：大腸がん検診・・・全被保険者

子宮頸部がん検診・・・30歳以上の女性被保険者及び被扶養者



郵送検診の流れ



結果について

再検査、精密検査が必要な方に対しては、健康保険組合から二次検査のお知らせを封書でお送りします。
※二次検査が必要な方は、重大な病気が隠れていることがありますので、必ず精密検査を行い医師の診断をお受け下さい。

<大腸がんと子宮頸部がんの特色>

	大腸がん	子宮頸部がん(女性)
がんがしやすい部位	肛門近くのS状結腸と直腸	子宮の入口である頸部の上皮
多発年齢	60歳代、70歳代、50歳代の順。 (男女ともほぼ同じ頻度)	30歳代～40歳代。 近年はさらに若年化の傾向。
なりやすい人 (リスクの高い人)	肉食や高脂肪の食事が多い方。 ポリープのしやすい方。 運動不足の方。 家族に大腸がんの人がいる方。	妊娠・出産回数が多い方。 活発な性活動や、性交渉の相手が多い方。 喫煙者。

※お願い

この検診は皆さんから徴収した大切な保険料で実施しています。昨年、申込みをされても実際検査をされなかった方が約4,000名いらっしゃいました。ご自身の健康のために、受診を希望された方は必ず検査をお受け下さいますようお願い致します。

■ 郵送検診に関する問い合わせ ■

佐川急便グループ健康保険組合

東京健康推進室 0120-81-3433 京都健康推進室 0120-81-6570